

成隣だより

平成29年 2月28日
第11号
昭島市立成隣小学校
校長 加賀田 真理

平成29年度に向けて

校長 加賀田 真理

子供たちは、今年度のよいしめくくりに向かって、学習や生活などに一生懸命取り組んでいます。今週は全校児童による6年生を送る会を行うなど、様々な年度末の行事も充実しています。

今、成隣小の子供たちを見ると、どの学年の子供もこの1年間で確実に成長してくれたことを感じています。今年度も子供たちのがんばりや成長を支えてくださった保護者・地域の皆様方のご協力に感謝の気持ちでいっぱいです。改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。一人一人の子供が「この1年間、楽しかった！」という思いで今年度を終わることができるよう、最後の最後まで学校も努力してまいります。最後まで、ご協力をお願いいたします。

さて、平成29年度の成隣小の教育活動についての準備も進んでいます。教育活動の主要な取り組みについてお知らせをいたします。

○幼保連携・小中一貫教育の重視

学習、生活指導、特別支援教育のそれぞれについて、入口でも出口でもよりよい連携を図っていくことにより、いわゆる「小1プロブレム」「中1ギャップ」の低減・解消を目指します。

○新学習指導要領への対応

新しい学習指導要領の内容が明らかになってきました。平成32年度の完全実施に向けて来年度は「特別の教科 道徳」「3・4年の外国語活動」「5・6年の外国語」に先行して取り組みます。（「外国語活動」「外国語」については市内統一の取り組みです。）

○基礎的・基本的な学力の充実とICTの活用

これまで放課後の「すくすくタイム」や土曜補習講座では、算数を中心に基礎的・基本的な学力の充実を図ってきましたが、来年度は内容を国語にも拡大し、名称を「ぐんぐんタイム」と変更して取り組みを進めます。「成隣漢字検定」を創設するほか、タブレットなどのICTの活用や「情報ハブステーション」（図書室・コンピュータ室）の充実にも取り組む予定です。

○障害理解・障害児理解教育の推進

平成30年度の特別支援教室開設に向けて、来年度は秋よりプレ実施を行う予定です。これまで以上に障害理解・障害児理解教育を推進して、特別支援教室の基盤作りに取り組んでいきます。

○自然や地域の環境を生かした体験的な教育活動の推進

本校は地域の方々のご協力により「ほたる観賞教室」や「水辺の楽校」など、地域を生かした体験的な学習が充実しています。来年度はさらに「リバーサイドスクール成隣」として、志茂光男様より土地を寄贈いただいたビオトープの充実や飼育小屋の改装による自然観察室（仮称）の創設など、一層充実した活動に取り組めます。また5年の清里移動教室は2泊3日となります。

○「成隣友の会」の創設

これまでも、大勢の保護者や地域の方々に教育活動を支えていただいておりますが、「成隣友の会」という学校の教育活動を支えていただくボランティアを募集いたします。

できる内容、できる範囲で大勢の方々に教育活動に関わっていただくことにより、これまで以上に子供たちの活動を身近に感じていただき、地域の学校として教育活動の充実を図ります。

来年度も、本校の教育活動へのご協力を、どうぞよろしく願いいたします。